

# 信濃川水系小相沢川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】



**1 説明文**

(1) この図は、信濃川水系小相沢川の長野県管理区間の一部区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の小相沢川の河道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小相沢川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に表示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体 長野県

(2) 指定年月日 令和 4年 3月15日

(3) 指定の根拠法令 水防法（昭和 24年法律第 193号）第 14条第 2項

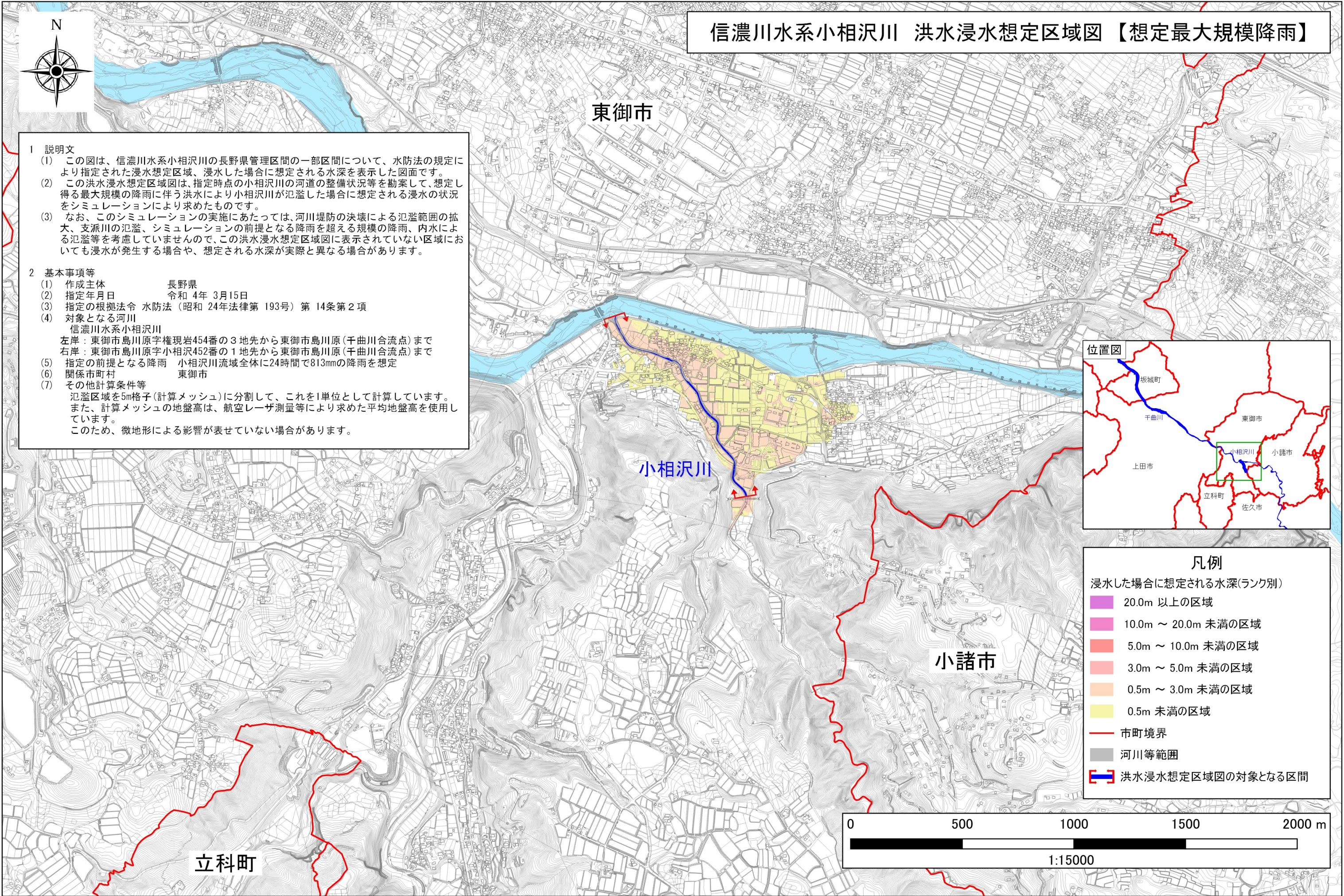
(4) 対象となる河川 信濃川水系小相沢川

左岸：東御市島川原字権現岩454番の3地先から東御市島川原（千曲川合流点）まで  
 右岸：東御市島川原字小相沢452番の1地先から東御市島川原（千曲川合流点）まで

(5) 指定の前提となる降雨 小相沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定

(6) 関係市町村 東御市

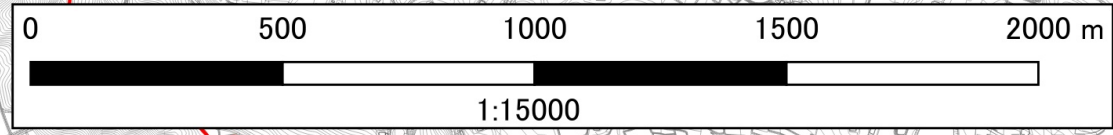
(7) その他計算条件等  
 氾濫区域を5m格子（計算メッシュ）に分割して、これを1単位として計算しています。  
 また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。  
 このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



**凡例**

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

20.0m 以上の区域
10.0m ～ 20.0m 未満の区域
5.0m ～ 10.0m 未満の区域
3.0m ～ 5.0m 未満の区域
0.5m ～ 3.0m 未満の区域
0.5m 未満の区域
市町境界
河川等範囲
洪水浸水想定区域図の対象となる区間



この地図は、東御市長の承認を得て、東御市都市計画図2,500分の1を複製したものである。国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものである。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 723」